

教育研究に向けて

令和元年から3カ年計画の研究主題は「探究する子供を育てる教育活動の創造」です。「探究」を軸とするこの研究は、学校目標である「主体的人間の形成」の具現化を目指し、これまでの研究成果である「学びをつなぐ子供を育てる教育活動の創造」等を基に設定しました。1年次研究は「『問い』の発生に焦点を当てて」としました。2年次研究は「各教科・領域における『探究型の学び』」、3年次研究は「子供が探究する学習づくり」を目指します。これからの研究成果が広範囲に活用され、ニーズに応える内容を目指しました。

ところで、昨年度に引き続き新型コロナ感染予防措置により、研究推進の方法等に対して大きな変革が迫られました。大人数が集まった研究大会の中止や対面による共同研究などが制限を受けました。その一方で、ICT活用により新たな研究会の在り方が提案され実施されました。こうした状況下で、附属旭川小学校では、今年度の研究大会を動画配信とオンライン研究協議の組合せにより実施予定です。

また、昨年同様に、全国の各大学及び附属学校園は、その研究成果が教育委員会や公立学校等においてどの程度活用されているかを把握したり、成果の提供先の要望を踏まえてその研究をより深化させたりするなど、双方向の研究成果の活用サイクルを作ることが引き続き求められています。これらに対して、附属旭川幼小中が組織的・継続的に連携しながら、最北の附属学校園として道北地域等に責任を担うことで応えます。

最後になりましたが、関係各位の皆様におかれましては、日頃から本校の教育研究活動に深い御理解と厚い御支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。そして、これからも御教示を賜りますことを、この場を借りてお願い申し上げます。



北海道教育大学
附属旭川小学校 校長
南部 正人